

契約履行実績による契約保証金の納付の免除について

契約履行実績による契約保証金の納付の免除を申請しようとする者は、落札決定後、契約を締結しようとする日（※１）までに「契約保証金免除申請書」を実行委員会事務局へ提出してください。（※２）

なお、契約保証金免除申請の承認には、次に掲げる条件を全て満たしている必要があります。

契約を締結しようとする日から過去２年間に国、地方公共団体又は公の機関が運営している団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を２回以上にわたって締結し、これらをすべて誠実に履行していること。

⇒「契約保証金免除申請に係る契約履行実績について」【別添１】参照

※１ 「契約を締結しようとする日」は、原則として、落札決定した日から５日以内の日（最終日が、広島市の休日を定める条例第１条第１項各号に掲げる日に当たるときは、最終日後において、最終日に最も近い同項各号に掲げる日でない日）となります。詳しくは、入札公告等に記載の実行委員会事務局にお問合せください。

※２ 契約保証金免除申請の承認には、平成２８年度全国高等学校総合体育大会広島市実行委員会（以下「本実行委員会」という。）による審査が必要であり、契約締結日になって初めて契約履行実績による契約保証金の納付の免除を申請すると、本実行委員会において上記条件の確認ができない場合があることから、必ず落札決定後のできるだけ早い時期に、本実行委員会に申請してください。

契約保証金免除申請に係る契約履行実績について

契約履行実績による契約保証金の納付の免除を申請するに当たっては、国、地方公共団体又は公の機関が運営している団体（注１）と種類及び規模をほぼ同じくする（注２）契約履行実績を、２件以上必要とします。

１ 契約履行実績の対象となる契約

契約履行実績の対象となる契約は、次に掲げるいずれかの契約とします。

(1) 「契約を締結しようとする日」から「過去２年以内」に次の条件を全て満たす、履行期間が１２か月以上の長期継続契約

- ① 契約を締結した状態にあること。（契約締結日は属していなくてもよい。）
- ② 履行期間（※１）が１２か月以上属していること。（契約書で定める履行期間の終期は属していなくてもよい。）（※２）

（※１）契約書に履行期間の記載がある場合の履行期間。（契約期間から履行前期間を除いた期間。）

（※２）契約を締結しようとする日までに１２か月以上の履行を完了する予定の契約について、契約を締結するまでに不履行となった場合は、契約履行実績として認めない。この場合、契約を締結するまでに契約保証金の納付（又は契約規程第２８条第１号による契約保証金の納付の免除）を要すること。

(2) 「契約を締結しようとする日」から「過去２年以内」に次の条件を全て満たす、上記(1)を除く契約

- ① 契約締結日が属していること。
 - ② 契約期間又は履行期間（※１）がすべて属していること。（※２）
- （※１）契約書に履行期間の記載がある場合の履行期間。（契約期間から履行前期間を除いた期間。）
- （※２）契約を締結しようとする日までにすべての履行を完了する予定の契約について、契約を締結するまでに不履行となった場合は、契約履行実績として認めないこと。この場合、契約を締結するまでに契約保証金の納付（又は契約規程第２８条第１号による契約保証金の納付の免除）を要すること。

（注１）「国、地方公共団体又は公の機関が運営している団体」について

国（独立行政法人を含む。）、地方公共団体（地方公営企業及び地方独立行政法人を含む。）又は公益的法人等とします。

（注２）「種類及び規模をほぼ同じくする」について

○「種類をほぼ同じくする」とは

広島市の物品等に係る競争入札参加者の資格等に関する要綱に記載された登録種目と同名又は同種のものとします。

○「規模をほぼ同じくする」とは

契約額（単価契約の場合は、契約単価に予定数量を乗じて得た額。）の１００分の７０以上のものをいい、契約方法により次表の区分に従うものとします。

契約方法による区分

			実績の対象とする契約		
			上記(1)の契約		上記(2)の契約
			契約額が総額又は単価表示	契約額が月額表示	
締結しようとする契約	履行期間が１２か月以上の長期継続契約	契約が総額又は単価表示	実績の対象とする契約の契約額（※）（長期継続契約の場合は、各年度の支払額のうち最高額）が、締結しようとする契約の契約額（※）（長期継続契約の場合は、各年度の支払予定額のうち最高額）の１００分の７０以上であること。	実績の対象とする契約の月額に契約月数（長期継続契約の場合は１２か月）を乗じて得た額が、締結しようとする契約の契約額（※）（長期継続契約の場合は、各年度の支払予定額のうち最高額）の１００分の７０以上であること。	実績の対象とする契約の契約額（※）が、締結しようとする契約の契約額（※）（長期継続契約の場合は、各年度の支払予定額のうち最高額）の１００分の７０以上であること。
		契約額が月額表示	実績の対象とする契約の契約額（※）（長期継続契約の場合は、各年度の支払額のうち最高額）が、締結しようとする契約の月額に契約月数（長期継続契約の場合は、１２か月）を乗じて得た額の１００分の７０以上であること。	実績の対象とする契約の月額に契約月数（長期継続契約の場合は、１２か月）を乗じて得た額の１００分の７０以上であること。	実績の対象とする契約の契約額（※）が、締結しようとする契約の月額に契約月数（長期継続契約の場合は、１２か月）を乗じて得た額の１００分の７０以上であること。
	その他の契約		実績の対象とする契約の契約額（※）（長期継続契約の場合は、各年度の支払額のうち最高額）が、締結しようとする契約の契約額（※）の１００分の７０以上であること。	実績の対象とする契約の月額に契約月数（長期継続契約の場合は、１２か月）を乗じて得た額が、締結しようとする契約の契約額（※）の１００分の７０以上であること。	実績の対象とする契約の契約額（※）が、締結しようとする契約の契約額（※）の１００分の７０以上であること。

※ 単価契約については、支払予定総額（契約単価に予定数量を乗じて得た額の総額）とする。

２ 注意事項

- (1) 契約締結日になって初めて契約履行実績による契約保証金の納付の免除を申請したのでは、本実行委員会において実績を確認できない場合がありますので、契約履行実績による契約保証金の納付の免除を申請する予定の場合は、必ず落札決定後のできるだけ早い時期に実行委員会事務局に申請してください。
- (2) 契約保証金の納付の免除を申請するに当たり、虚偽の申請（契約を履行していないにも関わらず契約履行実績として申請する、等）により不正に契約保証金の納付の免除を受けたことが判明した場合、契約保証金の納付の免除を取り消す。

契約履行実績の対象となる契約（例）

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
(例) 締結しようとする契約				<div> <div>契約の相手方を決定した日 (2/28)</div> <div>(3/5)</div> </div>	<div> <div>契約を締結しようとする日 (3/5)</div> <div>過去 2 年以内</div> </div>		
契約履行実績の対象とする契約	長期継続契約	<div> <div>(○対象)</div> <div>● : 契約締結日 (以下同じ。)</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>履行期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>履行期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>履行期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>履行期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>履行期間</div> </div>
	その他の契約	<div> <div>(×対象外)</div> <div>● : 契約締結日 (以下同じ。)</div> </div>	<div> <div>(×対象外)</div> <div>契約期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>契約期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>契約期間</div> </div>	<div> <div>(○対象)</div> <div>契約期間</div> </div>	<div> <div>(×対象外)</div> <div>契約期間</div> </div>
		契約を締結しようとする日から過去 2 年以内に ① 契約を締結した状態にあること。(契約締結日は属していなくてもよい。) ② 履行期間 (契約書に履行期間の記載がある場合の履行期間 (契約期間から履行前期間を除いた期間。)) が 12 か月以上属していること。(契約書で定める履行期間の終期は属していなくてもよい。)					
		契約を締結しようとする日から過去 2 年以内に ① 契約締結日が属していること。 ② 契約期間又は履行期間 (契約書に履行期間の記載がある場合の履行期間 (契約期間から履行前期間を除いた期間。)) がすべて属していること。					